

## 「水と暮らし」

—— 平成7年度 特別展の開催にあたって ——

館長 中力 昭

岡山県立博物館では、平成7年度特別展「水と暮らし」を10月28日（土）から11月26日（日）まで、約一ヶ月間にわたり開催することになりました。

水は生命誕生の源であり、人類が地球上での営みを始めて以来、人間の歴史に直接深く関わってきました。そこで今回の特別展では「飲料水としての水」「治水と利水」「水と産業」「水と信仰」などのテーマを設け、それぞれの分野で、水の果たしてきた役割や人々の生活とどのように関わってきたかを考えてみることにしました。

まず飲料水としての水では、井戸と水道に関するものを取り上げ、岡山市の百間川遺跡の出土物や、弥生時代の井戸枠、近代以前に水道をまちづくりの構想に取り入れた城下町跡から出土の木樋や城下絵図などを紹介し、水との関わりを考えてみたいと思います。

現在も毎年、洪水の悲劇は繰り返されています。昔から人間は自然の威力を感じながら、洪水にたち向いましたが、特に近世になると洪水対策が各藩で行われました。治水と利水では、洪水の常襲地帯として知られている岐阜県の輪中、岡山藩の百間川放水路工事や鳥取藩の治水対策などを紹介し、当時の人々の苦心の跡をたどってみたいと思います。

一方、農耕を中心として生活を営んできた我が国では、水をいかに確保するかは、最大の関心事でした。当然水争いも各地で起こりました。今回取水争いを物語る重要文化財の東寺百合文書や県内の湛井十二か郷用水、ため池灌漑として有名な香川県の満濃池の資料等を展示し、利水について考えることにしています。

水は、鉄の原料となる砂鉄や紙、弁柄の生産におおいにやくにたちましたが、一方、中国地方各地の河川流域では濁水が発生し、たびたび訴訟にまで発展しました。水と産業では、鉄穴流しや紙漉き、弁柄生産等の資料を展示し、公害問題にもなった河川の濁水について取り上げることにしています。

水が生命を育み、人間の営みに欠かせないものである以上、水を神聖化し、水に畏敬の念を抱くことは自然のなりゆきであり、当然各種の水に関わる信仰が生まれました。

また農耕中心の社会にあっては雨量の多少は、農作物の収穫量にも直結し、生活に大きく影響します。自然と神仏に祈願し、雨乞いや雨上げの行事を行うようになりました。水と信仰では、静岡県大谷川の旧流路から出土した遺物、止雨を祈願した木筒、最古級の絵馬などを展示し、日常生活の中での水に対する信仰について考えてみたいと思います。

終わりにりましたが、今回の特別展への出品を快く御承諾くださいました所蔵者の方々をはじめ、御協力を賜りました皆様に心から御礼申し上げるとともに、本展覧会への御感想をお寄せいただければ幸いです。



平成7年度 特別展

# 「水と暮らし」

平成7. 10. 28. ~11. 26

水は、生命誕生の源であり、人間の暮らしにとって欠くことのできないものである。人類が地球上での営みを始めて以来、水は人間の歴史に直接深く関わってきた。

今回の展覧会では、水のあることを当り前のこととして、何も疑うことのなかった現在の生活から、もう一度水の大切さを認識し、水の果たしてきた役割を見つめ直し、歴史の中で人々の生活とどのように関わってきたのかを考えてみたい。

## 一 飲料水としての水……「いのちの水」

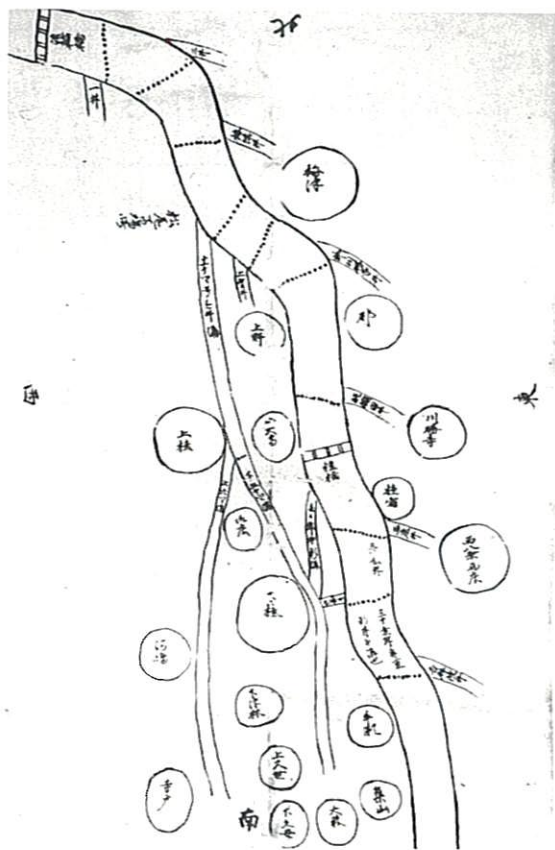
### (一) 井戸

水を確保するための井戸は、共同体の財産のひとつである。また一面では、「井戸端会議」という言葉があるように、各家庭に水道が引かれる以前の共同井戸は、近所の人々が交流する場でもあった。

木をくりぬいた弥生時代の井戸杵（浜松市博物館）をはじめ、杵を円筒型や井桁に組んだり、底に曲げものや備前



頭に甕をのせた女性の埴輪 (栃木県真岡市鶏塚古墳出土 東京国立博物館)



重要文化財 東寺百合文書のうち  
山城国桂川用水差図案  
(京都府立総合資料館)

焼・亀山焼を埋め込んだりした井戸杵など、さまざまな形態がある。また、戦国時代の武将朝倉氏館跡からは、釣瓶と滑車が出土している（福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館）。広島県草戸千軒町遺跡や県内遺跡の発掘成果を中心に紹介していく。

### (二) 水道

水を供給するための水道を、すでに近代以前に、まちづくりの構想に取り入れていた城下町がある。ここでは、高松・赤穂・名古屋などに注目し、城下から出土した木樋や城下絵図などの資料で紹介する。

水を配る水道ができる以前は、すべて人の力で水を汲み上げ、運び、溜めていた。栃木県真岡市の鶏塚古墳出土埴輪（東京国立博物館）は、子どもを背負い、頭上に甕を載せた母親の働く姿を表現している。また、弥生時代の岡山市の百間川米田遺跡からは、釣瓶として使われた甕（岡山県古代吉備文化財センター）などが出土し、水との結びつきを物語っている。水を求める人々の願いは、時代を超えて、今日と共通したものが感じられる。

## 二 治水と利水……「むらと水・まちと水」

### (一) 治水

水は、ときには山をえぐり、田畑を呑込み、都市を流してしまうほどの脅威を与える。人間は、自然の威力を感じながらも、何とか洪水を克服しようと、絶えず努力を積み重ね、工夫をしてきた。

ここでは、岡山藩の百間川放水路工事や鳥取藩の洪水対策を示す資料を紹介する。また、岐阜県の本曾・長良・揖斐川河口に広がる輪中は、洪水の常襲地帯として全国的に知られている。江戸時代の水暦治水工事から、三川分流工事にいたるまでの人々の苦労のようすを、油嶋喰違堰絵図（個人）、普請願書（岐阜県歴史資料館）などの資料で紹介する。

さらに、堤防の築き方を具体的に描いた江戸時代の普請絵巻（平塚市博物館）からは、先人の結集した英知が見えてくる。

### (二) 利水

いつの世の水利用も、水から恵みを受け、水を自然に戻し、「水とともに暮らす」という考えが源にある。農耕に頼るむらでは、水をいかに確保するかが、最大の関心事である。

中世の荘園制のもとで、用水をめぐる争論が繰り返されるのは、珍しいことではない。重要文化財の東寺百合文書のうち山城国桂川用水差図案・井手取口差図（京都府立総合資料館）は、15世紀頃の桂川からの取水争いを物語る貴重な資料である。

堰を築き、用水を引いた人々の営みについて、県内では十二か郷用水・八か郷用水・倉安川などを、また、ため池による灌漑として、香川県の満濃池を取り上げて紹介する。

## 三 水と産業……「やくだつ水」

ここでは、紙漉き・鉄穴流し・弁柄を例にとって水と産業との密接な関係を考えている。

明治後期までの国内の鉄生産は、中国山地一帯での「たたら製鉄（砂鉄精錬）」を主軸に展開された。原料の砂鉄は、流水を利用した「鉄穴流し」によって採取された。このため、中国地方各地の河川の流域では、濁水が発生し、たびたび訴訟にまで発展した。公害問題にもなった河川の濁水問題は、今日的な課題をも提起している。

また、水は動力水車の動力源としても利用されてきた。江戸時代中期以降には、杵・臼と結合した水車が考案され、県下でも幅広く活用された。しかし、近代的な原動機の登場により、基本動力源としての役割を終えた。

## 四 水と信仰……「水へのいのり」

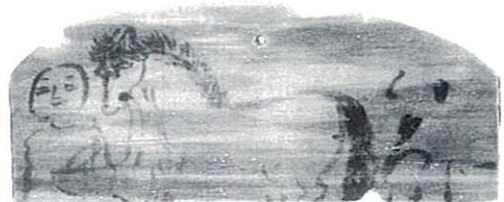
### (一) 水辺の祭祀

生命を育む水は、「水に流す」の言葉どおり、穢や厄災をも流すと信じられていた。水辺は、人々が身を清め、祈りを捧げる場でもあった。

人形に厄災を移してそれを流し、無病息災を願う習わしは、雛流しの行事として各地に伝えられている。また、今回紹介する静岡県大谷川の旧流路から出土した遺物（静岡県埋蔵文化財調査研究所）は、古墳時代から鎌倉時代にわたるものである。これを見ると、人形・馬形などの木製・土製品を使った祭祀から、梵字や仏尊名を木簡に書くような仏教的色彩の濃い祭祀へと移行していった過程がわかる。水辺の祭祀の変遷を物語る資料として注目される。

### (二) 雨乞い

雨量の多少は、農作物収穫量の多少に直結する重要な問題である。干ばつ・長雨に見舞われた人々には祈るより他に手立てはない。降雨・止雨を願うとき、人々は絵馬や歌舞を神仏に奉納したり、儀式をとり行ったりした。静岡県伊場遺跡からは、止雨を祈願したと思われる呪文を書いた木簡や、わが国で最古級といわれる絵馬が出土している（浜松市博物館）。また、岸和田市夜疑神社の絵馬は、江戸時代終わり頃の雨乞い行事を描いた珍しい資料である。このコーナーでは、雨乞い・雨上げの行事に関連した資料を県内はもとより県外各地からも紹介していく。



静岡県大谷川旧流路から出土した絵馬  
（静岡県埋蔵文化財調査研究所）

# 主な展示資料

(◎印は重要文化財、○印は県指定重要文化財、△印は市指定重要文化財を示す)

資料名	時代	所蔵者
1 飲料水としての水 (いのちの水)		
扇面法華経冊子 (模本)		東京国立博物館
井戸杵 (鹿田遺跡出土)	奈良	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
井戸杵 (静岡県宮竹野際遺跡出土)		鎌倉 浜松市博物館
柄杓	室町	草戸千軒町遺跡調査研究所
美濃織部滑車	桃山	サントリー美術館
釣瓶・滑車	戦国	福井県立一乗朝倉氏遺跡資料館
信貴山縁起 (模本)		東京国立博物館
福富草紙 (模本)		東京国立博物館
石山寺縁起 (模本)		東京国立博物館
新井戸水本並水掛惣絵図写	江戸	鎌田共済会郷土博物館
赤穂城水筋絵図写		赤穂市史編さん室
赤穂城下配水樋・給水樋	江戸	赤穂市立歴史博物館
福下小学校出土資料のうち		
木製樋・樋接合部材	江戸	名古屋市博物館
名古屋御城水道絵図	江戸	名古屋市鶴舞中央図書館
頭上に甕をのせた女性の埴輪		
(栃木県真岡市鶏塚古墳出土)	古墳	東京国立博物館
頭上に甕をのせた女性の埴輪 (残欠)		
(群馬県佐波郡赤堀村出土)	古墳	東京国立博物館
朱漆塗足付手洗い	室町	サントリー美術館
水渡し甕	明治	政田民俗資料館
波みだし桶	江戸	和気町歴史民俗資料館
2 治水と利水 (むらと水・まちと水)		
嘉永三年高梁川洪水絵図	江戸	個人
因幡国高草郡野坂川絵図	江戸	鳥取県立博物館
油嶋嶺遺墟絵図	江戸	個人
薩摩藩御手伝普請目論見絵図	江戸	個人
濃勢尾州川通村々領主地頭色分絵図	江戸	岐阜県歴史資料館
高須輪中堤外村々開発之絵図	江戸	岐阜県歴史資料館
木曾川下流改修計画図	明治	岐阜県歴史資料館
百間川絵図	江戸	岡山大学附属図書館
普請絵巻	江戸	平塚市博物館
上道郡沖新田開墾絵図	江戸	岡山大学附属図書館
満濃池水掛村々之図	江戸	個人
満濃池石樋御普請所之図	江戸	個人
満濃池樋門修築普請図	江戸	個人
湛井十二ヶ郷用水路絵図	江戸	個人
八ヶ郷用水絵図	江戸	個人
湛井堰築造図	大正	個人
酒津井手川始まり覚	桃山	個人
こい (水かき揚げ木製器具)		滋賀県教育委員会
◎山城国桂川用水差図	室町	京都府立総合資料館
◎山城国桂川井手取口差図	室町	京都府立総合資料館
陶製水神像	江戸	石川県 本江八幡神社

3 水と産業 (やくだつ水)			
上斎原村絵図	江戸	個人	
鉄穴規定書之事	江戸	個人	
東城・西城川筋鉄穴持主運上口数覚	江戸	個人	
奴可郡東城川筋十八ヶ村鉄穴順路	江戸	個人	
弁柄製造の図		個人	
弁柄商店引札	明治～昭和	個人	
弁柄屋仲間議定書之事	江戸	個人	
4 水と信仰 (水へのいのり)			
陶馬 (津寺遺跡出土)	奈良		
		岡山県古代吉備文化財センター	
陶馬 (蓮池尻遺跡出土)	奈良		
		岡山県古代吉備文化財センター	
線刻絵画土器 (足守川加茂A遺跡出土)	弥生		
		岡山県古代吉備文化財センター	
馬頭骨 (伊場遺跡出土)	平安	浜松市博物館	
人形、馬形、ト骨、絵馬、齋串ほか			
(神明原・元宮川遺跡出土)	古墳～鎌倉		
		静岡県埋蔵文化財調査研究所	
人形、舟形、馬形、齋串ほか			
(伊場遺跡出土)	奈良～平安	浜松市博物館	
人面墨書土器 (梶子遺跡出土)	奈良	浜松市博物館	
墨書土器 杯 (嶋上郡御跡出土)	平安		
		高槻市立埋蔵文化財調査センター	
流し雛 (笠岡市北木島)		岡山県立博物館	
札状木製品 (百間川米田遺跡出土)			
		岡山県古代吉備文化財センター	
舟型木製品 (草戸千軒町遺跡出土)		広島県立歴史博物館	
絵馬 (神明原・元宮川遺跡出土)	鎌倉		
		静岡県埋蔵文化財調査研究所	
絵馬「黒馬図」	江戸	倉敷市 阿智神社	
△絵馬「雨乞い図」	江戸	岸和田市 夜疑神社	
○木造鬼面	室町	和気町 安養寺	
百呪呪符木簡 (伊場遺跡出土)	奈良	浜松市博物館	
線刻絵画土器 (天瀬遺跡出土)	弥生	岡山市教育委員会	

## 記念講演会 (聴講無料)

日時：11月3日 (金) 文化の日  
14:00～15:30

場所：岡山県立博物館講堂

講師：奈良大学学長 水野正好氏

演題：「井戸の文化史」

## 岡山県立博物館だより No.45

発行日 平成7年10月1日

発行者 岡山県立博物館

館長 中力 昭

岡山市後楽園1-5

☎(086)272-1149